

電気工事技能大会

『未来を拓く電工技術』

覚悟を決めて
挑戦してみよ
うと思った」

杉本さん(桑原電工)が初の栄冠に

―大会に向
けてどんな準
備を。

電気工事士の技能を競う『第4回電気工事技能競技北海道大会』が7日、道立札幌高等技術専門学院(札幌市東区)で開催された。全道各地を代表する精鋭10名が名を連ねた一般の部では、北見支部代表の杉本悠輔さん(36)(〓桑原電工(株))が初出場ながら見事初優勝の栄冠に輝いた。北見支部代表としても初となる偉業に、地元関係者らは歓喜に沸く。杉本さんは「自分の力がどこまで通用するか不安だったが、周囲の支えで優勝することが出来た。この結果は大きな自信になる」と大会を振り返った。

「え?何で自分が?」

―大会にエントリーしたきっかけは。
「今年の1月に社長(桑原賢史朗社長)から『電気工事組合から推薦の話が来ているぞ』と声をかけてもらった。え?何で自分が?と最初は信じられなかった。実は前回と前々回大会は自分の師匠でもある会社の先輩が参加しており、実際に大会も観に行った。とんでもないレベルの高さで自分なんか到底無理だ、と。けれど、せっかく頂いたありがたいお話。」



「北見のレベルを実感できた」と大会を振り返る杉本さん

「課題が発表されるのは本大会の2カ月前。それまでは日々の仕事への意識をこれまで以上に高め、自分の技術への誇りと責任感をより一層強く持って取り組んだ。課題が発表されてからは業務外の時間も使った。お盆時期の墓参り以外は休日も全て練習に充て、北見支部の代表として恥ずかしくないようにとレベルアップに努めた。この時期は遠方への出張をずらすなど、業務シフトにも最大限配慮してもらった。サポートしてくれた会社の皆さんには本当に感謝している。」

―大会直前の心境は。

「当日の設営準備のために大会前日に会場入りしたが、周りのライバルたちが用意する工具が自分とは桁違いの重裝備で『あ、自分は場違いだ...』と一気に焦りが襲ってきた。『みんなスゴそうだな、早く帰りたい...』そんなネガティブな心境にも陥った。正直、前夜は焦りと緊張と興奮で全く熟睡できなかった。」

「北見のレベルを証明」

―迎えた本番。存分に力を発揮した。

「不安と焦りはあったが『北見支部代表として何か爪痕を残したい』そんな気分が徐々に高まり、いい精神状態で本番に入れた。競技の設定は3時間。競技パネルに配線や配管そして分電盤などを取り付ける工程だが、とにかく無我夢中でや



競技中の3時間は「あまり覚えていない」

で開催される全国大会だ。

「積み重ねてきた確かな技術で見事に大会を制した。次なる舞台は11月に横浜で開催される全国大会だ。」

「未知の世界に挑戦」

「電気工事の道を志したきっかけは。」

「北見工業高専として高等技術専門学院で電気工事を学んだ。正直、どうしてもこの道に、という気持ちがあったわけではなく、確かなしつかりとした技術を身に付けたいな、そんな思いが強かった。ご縁をいただいで桑原電工に就職させてもらい、それからは『ライフラインを守る』強い使命感で日々仕事に向き合っている。人々の暮らしを支えるこの仕事はやりがいを感じられるし、この世界を選んだことは自分の誇り。技術の習得に時間はかかるが、若い人たちにもぜひこの仕事に興味をもってもらいたい」

った。細かいところはあまり覚えていない。実は参加者全員が所定の時間内に終わらず、延長時間が設定される展開にはなったが、とにかく無事に課題を終えることができて正直ホッとした」

「弛まぬ努力の結果、北見支部初となる栄冠を手にした。」

「北見地区の代表としてその名に恥じぬようにと臨んだ大会だったので、結果を出せたことは素直に嬉しい。北見のレベルは決して低くない、それを証明することができたのではないかと。決して自分に技量があるわけではなく、北見地区全体のレベルを実感できた大会だった」



北見支部初の快挙を達成した杉本さん(中央)

省を活かし、残り2カ月で作業時間の短縮化に取り組み、今よりも進化した自分で全国の舞台に望みたい。とにかく自分の持てる力を全て出し切ることで、そして未知の世界がどんなものなのかをこの目に焼き付けて、それをぜひ北見地区の皆さんにお伝えしたい」

今大会での杉本さんの快挙達成に、桑原賢史朗社長(桑原電工株)は「物凄いことをやってくれた。強者揃いの今大会だったが、彼が披露した技術は圧倒的で美しくすら映った。全力で抱きしめてあげたい気持ち」と最大限の賛辞を贈る。北見地区電気工事業協同組合の根本一事務局長は「次世代を担う若い人たちにも大きな励みと刺激になる偉業だ。全国大会に向けて当組合でも全力でサポートしていきたい」とエールを贈った。

大会プログラムでも紹介された杉本さんのモットーは『AAA(安全で安心な安定した現場づくり)』。「安全であることは絶対に必要。この信念を胸に、さらに精進したい」そんな志高き電気工事士杉本悠輔が織り成す匠の技は、全国の舞台でどこまで飛躍を遂げるのか。11・28、横浜アリーナでの頂上決戦はYouTubeでライブ配信される予定だ。皆さま、ぜひ注目を!!